

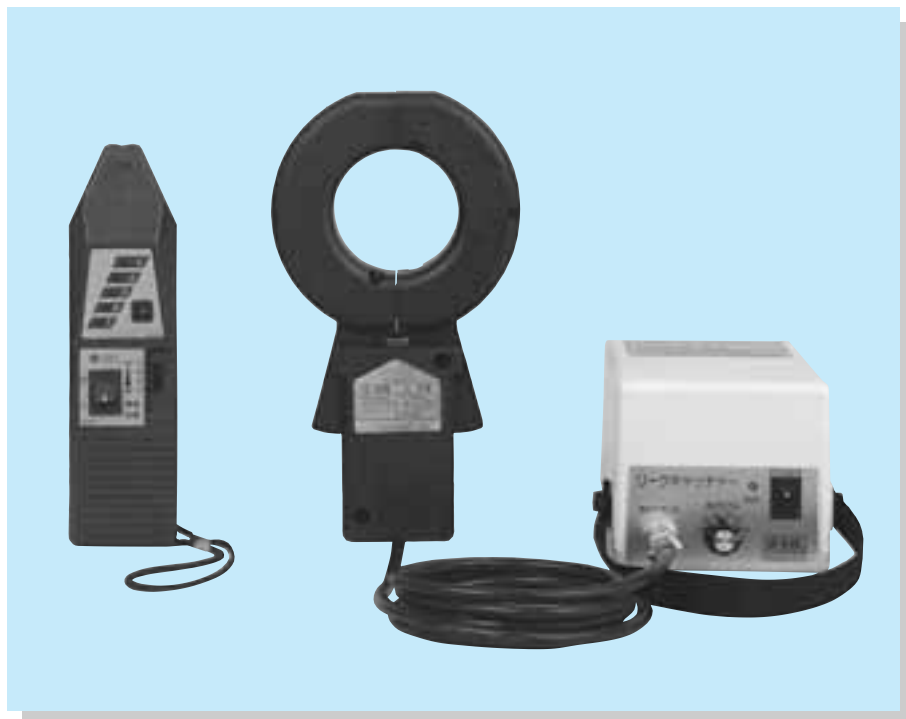
無停電で電線に触れるだけで漏電箇所がわかる

無停電漏電点探査器リークキャッチャー

1

探査・測定機器

SLE-A形



■特長

- 無停電で漏電点がわかります。
- 信号注入方式のため、加圧相および接地相の漏電点（漏電箇所）がわかります。
- 受信器は電線・器具に触れるだけで簡単に漏電点がわかります。

■仕様

送信器

信号周波数	4222Hz
信号注入時間	連続
信号注入レベル（出力）	10,20,30,50,75,100% (1.2Vp-p)の6段切替
注入トランス内径	φ60
電源	小形シール鉛蓄電池(12V)

受信器

探査方式	信号電流による磁束検出
探査時の表示	LEDランプ点滅 ブザー音断続
探査感度	4段切替
電源	9Vアルカリ電池×1

共通

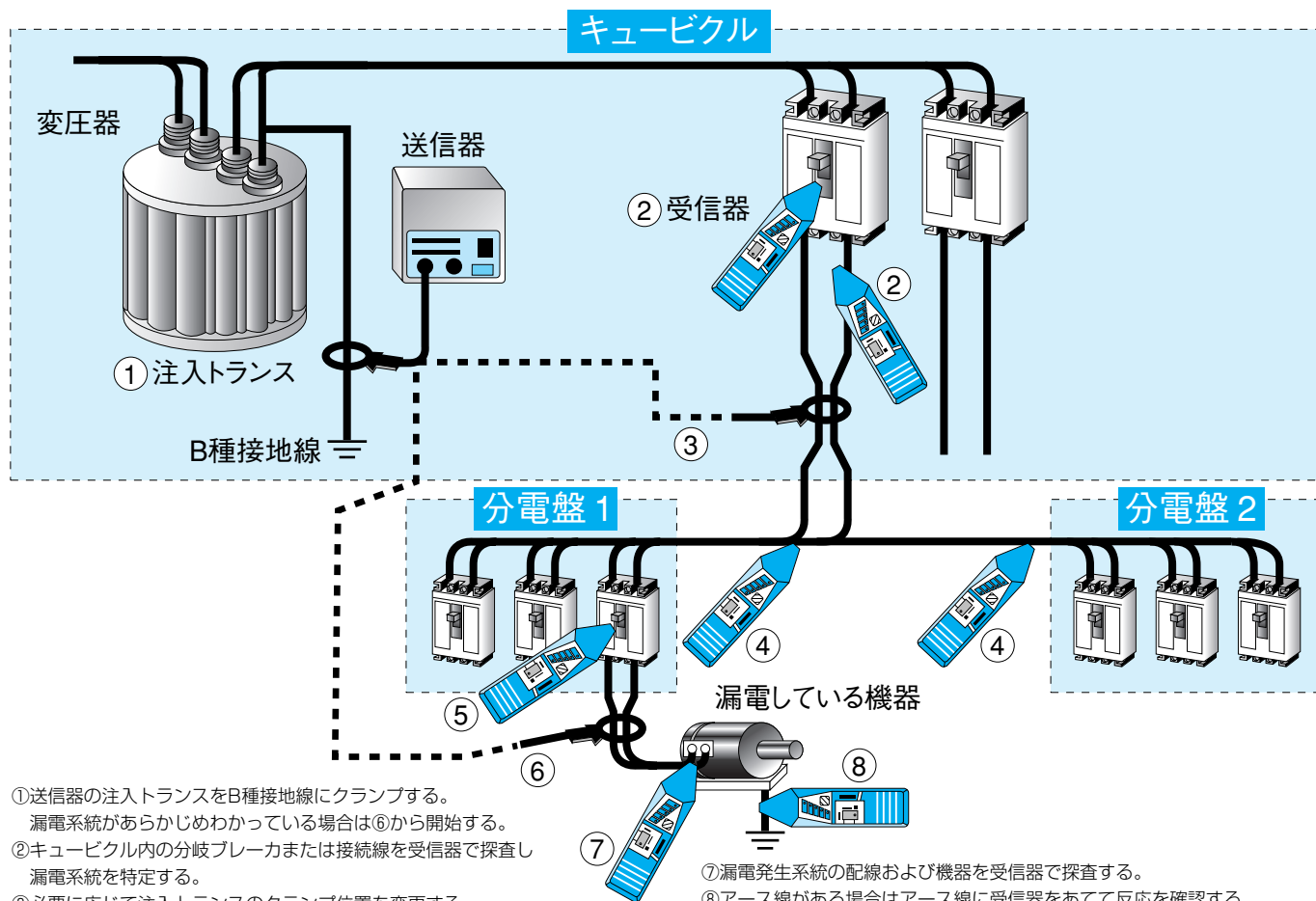
探査可能漏電電流	100V 30mA以上の漏電 (地絡抵抗3kΩ以下) ^(注)
適用回路電圧範囲	AC600V以下の 低圧配線路
使用温度範囲	-10~40℃
使用湿度範囲	相対湿度95%以下
保存温度範囲	-20~50℃

(注) 探査回路のノイズの発生状況により、探査可能な漏電電流は変化します。
200V回路の場合は60mA以上の漏電となります。

■構成



■使用例



- ① 送信器の注入トランスをB種接地線にクランプする。
漏電系統があらかじめわかっている場合は⑥から開始する。
- ② キュービクル内の分岐ブレーカまたは接続線を受信器で探査し漏電系統を特定する。
- ③ 必要に応じて注入トランスのクランプ位置を変更する。
- ④ ②項で特定した分岐ブレーカに対する分電盤を特定する。
- ⑤ 分電盤内の分岐ブレーカまたは接続線を受信器で探査し漏電系統を特定する。
- ⑥ 漏電系統があらかじめわかっている場合は漏電系統の任意の位置（例えば⑧の位置）に注入トランスを一括クランプする。

- ⑦ 漏電発生系統の配線および機器を受信器で探査する。
- ⑧ アース線がある場合はアース線を受信器をあてて反応を確認する。
漏電点の推定ができれば死線状態にして絶縁抵抗を確認する。
※探査は受信器の規則正しい点減を確認して行います。
※受信器が反応した場合、漏電箇所はその位置よりも負荷側にあります。
(アース線を除く)
※機器から発生するノイズ、配線の対地静電容量、ノイズフィルタなどの影響により判定が困難な場合があります。この場合、漏電箇所の特定は測定による方法などと組合せて統合的に判断して下さい。
※注入トランスを配線路にクランプする時は1相ではなく全相一括にクランプして下さい。

■オプション類

【シールドカバー】

注入トランスにシールドカバーを装着することによって、注入トランスの信号の影響を受けことなく探査することができます。

	受信器と注入トランスの距離
シールドカバー未使用	2m以上離して使用して下さい。
シールドカバー使用	1m以上離して使用して下さい。



【探査棒】

探査棒に受信器を装着することによって、天井などの高い所を探査することができます。



■標準価格表

形名	標準価格		備考
	税込	税別	
SLE-A	173,250	165,000	

オプション品

品名	標準価格		備考
	税込	税別	
シールドカバー	15,750	15,000	
探査棒	12,600	12,000	